

支援プログラム

事業所名： ポッププラス (児童発達支援)

作成日： 令和6年12月1日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちの個性を理解し、世の中で楽しく過ごしていけるようお手伝いをいたします。 ○子どもたちと関わりながら生活している、保護者や周りの大人も子どもたちを中心に楽しいと思いながら過ごせる環境を作ります。 ○子どもたちの可能性を秘めたままにせず、将来社会の一員として幸せに暮らしていくための土台作りをお手伝いします。 ○幼稚園等や普段の生活からは得られない体験や刺激を『音楽』や『遊び』の中から体験し『楽しい』という気持ちを大きく育てるお手伝いをします。 		
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ○幼児・児童が健康で安心して生活を送れるよう、安全で衛生的な環境を整備します。 ○人と人との触れ合いの中で愛し愛され、あたたかみのある療育を提供します。 ○様々な体験を通して子どもの心を動かし、豊かな感性を育みます。 ○音楽プログラムを通して幼児・児童の体と脳の発達を促進します。 ○安心して預けられる場を提供するため、保護者との信頼関係を築き、子どもや家庭の状況を共有し、ともに子育てを楽しく行います。 		
営業時間		9時から18時まで	送迎実施の有無	あり
支援内容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ○毎日の健康観察 ○身辺自立・管理に向けての活動(靴、荷物、提出物) ○睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムの確立 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ○粗大運動や、微細運動、感覚遊びを通じて姿勢の保持、基本的動作の向上を目指す。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ○イラストを用いて、1日の流れを確認することで時間の認知形成を図る。 ○季節の変化への興味関心を高め、感性を育むための活動・行事の提供。 ○ブロックあそび等の中で、色や形、大きさ、空間が変化の様子を把握することによって認知機能の発達を促す。 		
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児・児童が見ているもの、感じていることを共有し職員が言葉で表現することで、幼児・児童の言語習得に繋げる。 ○音楽療育を通じて体系的な言語の習得、自発的な発声を促す。 ○指さし、ジェスチャー、身振り手振り等も用いながら、基本的コミュニケーション能力の向上 		
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ○日頃の関わりの中でアタッチメントを形成し、1人遊びから共同遊びへの支援を行う。 職員がモデルを示し、他者交流の経験を積むことができるよう支援する。 		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時の会話やSNSの発信などで随時情報を共有する。 ・必要に応じて面談や療育を参観する場を設け困りごとへの相談援助を行う ・家族・きょうだいのイベント参加 ・家族の就労等に合わせたお預かりに対応し、レスパイト支援を行う。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ○インクルージョンに向けた取組の推進 ・地域の公園、図書館、体育館を活用し、集団活動を行う。 ・保育所や幼稚園の訪問や受け入れの際に行った会議等を通じて、児童の心身の状況や生活環境などの情報連携を実施する。 	
地域支援・地域連携	散歩、イベントを通して地域の方と交流・連携を図る。		職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の職員会議 ・外部研修への参加 ・月1回の内部研修（虐待防止、感染症対策など） ・資格取得の補助
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りやクリスマスなどの季節のイベント ・クッキング ・外出やお買い物体験 ・防災訓練 ・交通安全教室 			

支援プログラム

事業所名： ポッププラス（放課後デイサービス）

作成日：令和6年 12月 1日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちの個性を理解し、世の中で楽しく過ごしていけるようお手伝いをいたします。 ○子どもたちと関わりながら生活している、保護者や周りの大人も子どもたちを中心に楽しいと思いがら過ごせる環境を作ります。 ○子どもたちの可能性を秘めたままにせず、将来社会の一員として幸せに暮らしていくための土台作りをお手伝いします。 ○幼稚園等や普段の生活からは得られない体験や刺激を『音楽』や『遊び』の中から体験し『楽しい』という気持ちを大きく育てるお手伝いをします。 		
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ○幼児・児童が健康で安心して生活を送れるよう、安全で衛生的な環境を整備します。 ○人と人との触れ合いの中で愛し愛され、あたたかみのある療育を提供します。 ○様々な体験を通して子どもの心を動かし、豊かな感性を育みます。 ○音楽プログラムを通して幼児・児童の体と脳の発達を促進します。 ○安心して預けられる場を提供するため、保護者との信頼関係を築き、子どもや家庭の状況を共有し、ともに子育てを楽しく行います。 		
営業時間		9時から18時まで	送迎実施の有無	あり
支援内容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ○毎日の健康観察 ○身辺自立・管理に向けての活動(靴、荷物、提出物) ○睡眠、食事、排泄、衣服の着脱等の生活に必要な基本的技能の獲得 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ○粗大運動や、微細運動、感覚遊びを通じて姿勢の保持、基本的動作の向上を目指す。 ○保有する感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援する。 ○感覚の特性を踏まえ、偏りに対する環境調整等の支援を行う。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ○イラストを用いて、1日の流れを確認することで時間の認知形成を図る。 ○季節の変化への興味関心を高め、感性を育むための活動・行事の提供。 ○過去の経験を踏まえ、今の場面に照らし合わせて 環境や状況を把握、理解できるようにする とともに、場面や状況に応じて 的確な判断や行動に繋げることができるよう支援を行う。 		
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が見ているもの、感じていることを共有し職員が言葉で表現することで、児童の言語習得に繋げる。 ○ことばあそびなどを通じて体系的な言語の習得、語彙を増やすことへつなげる。 ○指さし、ジェスチャー、身振り手振り等も用いながら、基本的コミュニケーション能力の向上 ○集団活動の振り返り等を通じて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど 言語を受容し表出することができるよう支援する。 		
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ○日頃の関わりの中でアタッチメントを形成し、1人遊びから共同遊びへの支援を行う。 ○職員がモデルを示し、他者交流の経験を積むことができるよう支援する。 ○アタッチメントの形成を意識をした支援を行うことで、情緒の安定を図る。 ○SST等を通して他者の気持ちを理解し、場に応じた適切な行動ができるよう支援する。 		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時の会話やSNSの発信などで随時情報を共有する。 ・必要に応じて面談や療育を参観する場を設け困りごとへの相談援助を行う ・家族・きょうだいのイベント参加 ・家族の就労等に合わせたお預かりに対応し、レスパイト支援を行う。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ○インクルージョンに向けた取組の推進 ・地域の公園、図書館、体育館を活用し、集団活動を行う。 ・学校や事業所の訪問や受け入れの際に行った会議等を通じて、児童の心身の状況や生活環境などの情報連携を実施する。 	
地域支援・地域連携	散歩、イベントを通して地域の方と交流・連携を図る。		職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の職員会議 ・外部研修への参加 ・月1回の内部研修（虐待防止、感染症対策など） ・資格取得の補助
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りやクリスマスなどの季節のイベント ・クッキング ・外出やお買い物体験 ・防災訓練 ・交通安全教室 			